

2007年度 小学部 全園統一テスト時間割

●実施日 : 2007年5月20日(日)

- ＜受験上の注意＞
1. 試験中は、携帯電話の電源を切っておくこと。
 2. (腕)時計は、必ず持参すること。
 3. 算数の計算は、問題用紙の余白を使用のこと。
 4. 解答用紙には、解答以外は一切記入しないこと。
 5. 筆記用具を忘れないこと。
(※万一忘れたときは、すぐ監督に申し出ること。)
 6. 着脱可能な服を用意しておくこと。
 7. カンニングを見つけた場合は、すぐに答案をとりあげる。
さらに、全教科を0点とする。

＜時間割＞

学年	時限	科目	時間	会場
4年 国・算 40分 社・理 30分	I	国語	13:10~13:50	M・I教室
	II	算数	14:00~14:40	
	III	社会	14:50~15:20	
	IV	理科	15:30~16:00	
5年 国・算 50分 社・理 40分	I	国語	9:00~ 9:50	1組→R教室
	II	算数	10:00~10:50	2組→P教室
	III	社会	11:00~11:40	
	IV	理科	11:50~12:30	
6年 国・算 50分 社・理 40分	I	国語	9:00~ 9:50	M・I教室
	II	算数	10:00~10:50	
	III	社会	11:00~11:40	
	IV	理科	11:50~12:30	

模試の効用

◆失敗は成功のもと◆

「どうせできないから…」という理由で模試を欠席している人いるんじゃないかな？ 模試はあくまで「練習試合」なのです。スポーツに限らず、普段の練習だけではなかなか実戦カンがつかめないと同様に、勉強も他流試合（模試）がなければ実戦カンはつかめません。

そしてあくまで練習試合なので、たとえ負けても(点数がとれなくても)、本番への足がかりとなればそれで大いに収穫があったといえるのです。

私は高校時代、バレーボールをしていたのですが、練習試合で勝っていたD高校に、本番のしかも最後の大会で負け、大変悔しい思いをしました。D高校は練習試合で負けたことで、私の学校への対策をかなりしていたようでした。

一方、私たちは「一度勝っている」という自信が過信になっていたようです。

くしくも勉強（入試）も全く同じことが言えるのです。

私のような悔しい思いをみなさんには味わってほしくありません。むしろD高校のように、失敗をにくじけることなく、逆に失敗をバネにして、何事にも前向きに立ち向かい、本番で成功するよう模試にも挑んでみてください。